

学校評価アンケート（保護者）					
項目	とても そう思う (%)	そう思う	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない	肯定率
学校は楽しく学び助け合う学校	29.7	64.7	3.9	1.7	94.4
あいさつができています	24.6	56.9	16.4	2.2	81.5
わかりやすい授業	25.9	67.7	5.2	1.3	93.6
思いやり・いのちの指導	25	65.5	7.3	2.2	90.5
きまりを守れている	28.9	65.1	6	0	94
ふわふわ言葉が使えている	25.9	53.4	19.4	1.3	79.3
家庭学習が習慣化	26.3	49.6	21.6	2.6	75.9
生活リズムが定着	30.6	47.8	20.7	0.9	78.4
話を最後まで聞ける	18.1	59.1	22	0.9	77.2
好き嫌いせず食べる	26.3	41.4	29.3	3	67.7
安全な行動が身につけている	29.3	60.8	9.9	0	90.1
家でほめている	27.2	65.1	7.8	0	92.3
学習準備ができています	20.3	50	27.6	2.2	70.3
夢・希望を持っている	24.1	57.8	17.7	0.4	81.9
古蔵小は通わせたい学校	26.7	62.1	9.1	2.2	88.8

1. 全体の傾向

今回のアンケートでは、ほとんどの項目で肯定率 75～95%と高い評価が得られた。

特に、授業・児童理解・安全指導・学校づくりなど、学校の教育活動に関する項目は 90%前後の肯定率を示し、学校への信頼が安定して高いことが確認できる。

一方で、児童の生活習慣や学習習慣に関する項目は相対的に低く、家庭との協働が必要な領域が明確になった。

2. 項目別の分析

(1) 学校の教育活動に関する評価

以下の項目は、特に高い肯定率を示し、学校の取り組みが保護者に確実に伝わっている。

- 楽しく学び助け合う学校づくり… 94.4%
- わかりやすい授業… 93.6%
- 思いやり・いのちの指導… 90.5%
- 安全な行動が身につけている… 90.1%
- 通わせたい学校… 88.8%

以上の結果から、「日々の授業改善」「児童理解に基づく丁寧な指導」「安全教育の継続」「温かい学校風土づくり」といった取組が、学校全体の強みとして定着していることが読み取れる。

(2) 生活習慣・学習習慣に関する評価（課題）

肯定率が比較的低い項目は以下のとおり。

- 好き嫌いせず食べる… 67.7%
- 学習準備ができています… 70.3%
- 家庭学習が習慣化… 75.9%
- 話を最後まで聞ける… 77.2%

以上の結果から、「食習慣」「学習習慣」「聞く態度」「家庭での生活リズム」といった家庭と学校の協働が必要な領域に集中している。学校だけでは改善が難しいため、保護者と連携した働きかけが求められる。学校と家庭が同じ方向を向いて取り組む必要性が示された。

(3) 家庭での関わりに関する評価

- 家でほめている… 92.3%
- ふわふわ言葉が使えている… 79.3%

「ほめる」については非常に高い評価で、家庭での温かい関わりが広がっている。一方で「ふわふわ言葉」はやや低く、家庭の言語環境の差が表れやすい項目と考えられる。